



小学6年生が演じる「浮世柄比翼稲妻」の一場面。（関連記事：7ページ）

今月の村長室から

○**高齢者訪問** 毎年米寿の方と百歳以上の方を訪問しています。今年は米寿の方が二十八名、百歳以上の方が四名みえます。九月二十七日に訪問させていただいた方はそれぞれお元気で、仕事中的の方もありました。お元気な方が多い事は大変ありがたい事です。高齢になっても楽しく過ごせる東白川村でありたいものです。また八日に行なわれた老人祭りで元気な皆さんと出会い楽しいひと時を過ごしました。

○**行事がたくさん** 六日の夜に交通法令講習会を行ない、多くの村民の皆さんに交通安全を考えていただくひと時となりました。今後もご協力をお願いします。またスポーツの秋を迎えぎふ清流国体が行なわれました。本村でも九月三十日にデモスポーツのウォークラリーが開催され多くの参加がありました。また保育園、小学校の運動会も実施されスポーツの秋は盛り上がりました。

○**旧風花屋の利用を交渉中** 懸案となっております旧風花屋の建物を村が購入し、先日食品と衣料の有限会社マツオカと貸借の交渉を始めました。村民の利便性と村の活性化を目標に話し合いを進めています。年内に開店の運びになれば良いと考えています。交渉の進み具合は引き続きお知らせします。

○**赤い羽根共同募金にご協力を** 今年も一日から「赤い羽根共同募金」が始まりました。皆様からいただいた募金は、金額の約三〇％が岐阜県内の高齢者や恵まれない方たちの福祉施設、社会福祉団体に配分され、残りの七〇％は村の社会福祉協議会が窓口となり村内の身体障害者団体・母子寡婦福祉会などの活動の支援や福祉ボランティアの活動費などに充てさせて頂きます。今月の役場からの配布物と一緒に自治会長さんを通じて戸別の募金をお願いします。また窓口募金として、役場・農協・診療所・道の駅・野菜村に募金箱を設置しています。どうか共同募金の趣旨に賛同頂きご協力をお願いします。



台風豪雨災害復旧、診療所健診設備更新など

―平成二十三年年度決算報告 総額二十三億円の使いみち―

九月の議会定例会で平成二十三年年度の決算認定を受けました。

一般会計と特別会計の歳出総額は、三十三億一千八百六十一万七千円です。今回は、この内訳や使い道と併せて二十三年年度の財政状況をお知らせします。

■ 一 般 会 計 ■

二十二年と比較すると歳入では二億五百七十四千円、歳出では一億一千四百二十六万八千円とそれぞれ増額となりました。差引残高の六億六千六百五十三万二千円を二十四年度に繰り越すことができました。

○歳入：財源の内訳は、自主財源が三十一％、依存財源が六九％となり、自主財源が占める割合が昨年度より四％ほど多くなりました。

自主財源では、主体である村税がたばこ税以外の税目で前年度より少なくなっています。

分担金・負担金は、主に引き下げを行なった保育料の減額分があるものの、耐震化工事負担金や土地改良

施設修繕負担金などの臨時的な収入があつたため、全体では増加となっています。

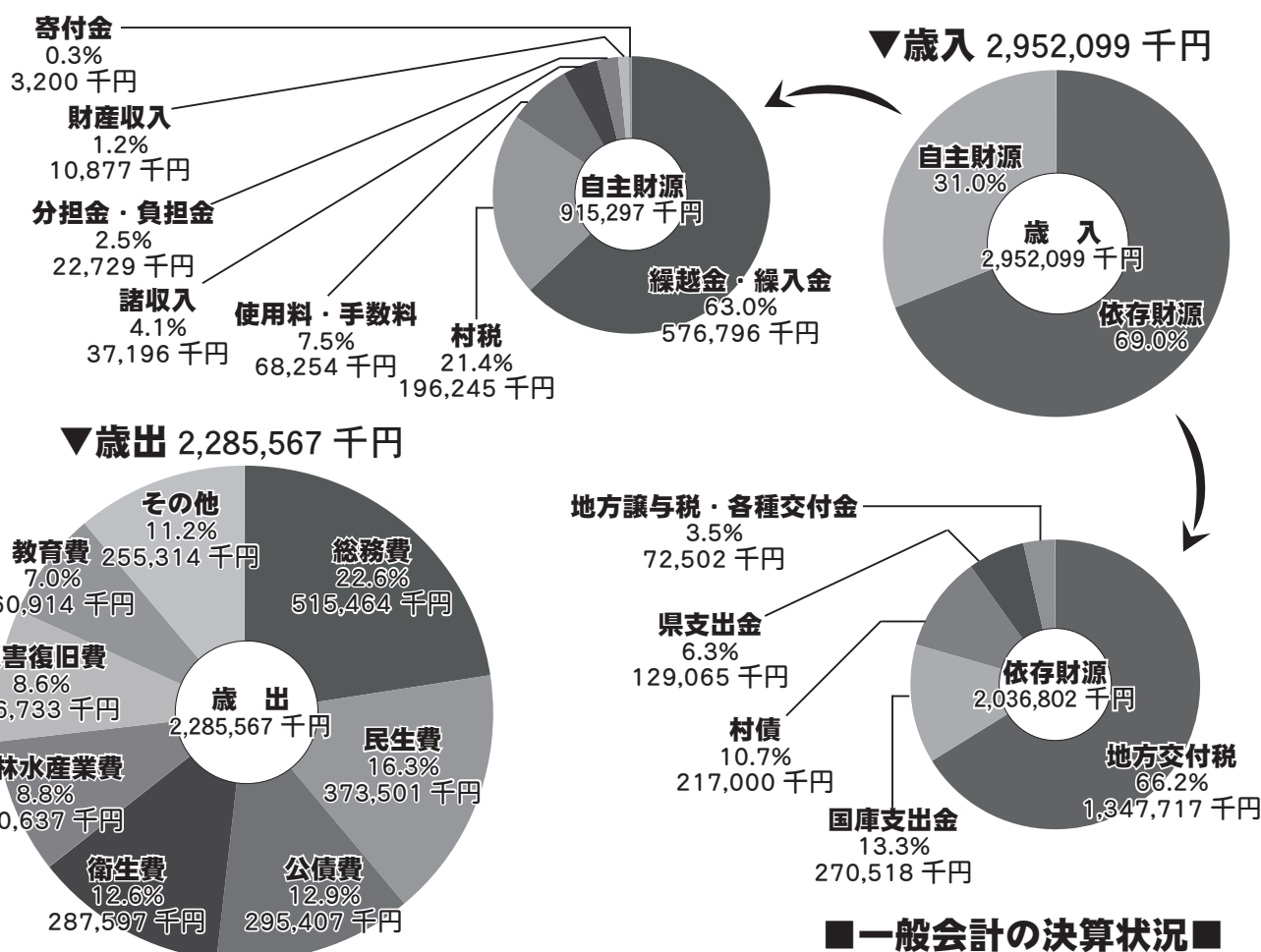
寄付金は、ふるさとおもいやり基金寄付金や各種指定寄付金を頂いたことで前年度より八十万一千円の増額となりました。

繰入金・繰越金を含めた自主財源の総額は、前年度と比較して一億七千七百七十七千円の増加となりました。

依存財源では、主に新規に借りた過疎対策事業債のソフト事業分や、災害復旧に係る起債と国庫支出金の増額により、全体で三千三百三十六万七千円増加しています。

○歳出：災害復旧費が、各種災害復旧工事により前年度の約三倍となっています。

このほか国保診療所施設整備のための特別会計への繰り出しや、前年度に引き続き財政調整基金への一億円の積み立てを行なったため、歳出総額では昨年度と比べ一億一千



■一般会計の決算状況■

○特別会計 歳出・歳入総額（前年度比）

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	3億7374万6千円 (-8.7%)	3億4222万2千円 (-2.7%)
介護保険	2億3916万円 (-0.4%)	2億2283万4千円 (+1.8%)
簡易水道	1億5211万7千円 (-5.5%)	1億4541万4千円 (-4.0%)
下水道	2329万6千円 (-0.8%)	2115万円 (+2.6%)
国保診療所	3億762万7千円 (-3.6%)	2億6839万9千円 (-4.7%)
後期高齢者医療	3457万8千円 (+3.4%)	3303万1千円 (+1.0%)

四百二十六万八千円の増額となりました。

なお人件費、扶助費、公債費の義務的経費については、合計で一十七百三十万円減となりました。

■国民健康保険特別会計■

歳入では、国庫支出金、共同事業交付金、療養給付費交付金が増額したものの、被保険者数減少による保険税の減額や、前期高齢者交付金、県支出金の減額により、全体では前年度より三千五百四十五万七千円の減となりました。

歳出では、六五・〇%を占める保険給付費のほか、後期高齢者支援金、共同事業拠出金などの減額で、全体では前年度より九百五十三万六千円の減となっています。

■介護保険特別会計■

平成二十三年度の要介護、要支援認定者数は前年度より五人増の百四十四人です。

歳入では大きな変動はなく、ほぼ横ばいです。

歳出では、九割近くを占める保険給付費が居宅介護・施設介護サービス給付費などの増加、そのほか総務費、地域支援事業費も増加し全体では前年度より三百九十九万三千円の

増となりました。

また、平成二十四年度から三年間の第五期介護保険事業計画を作成し、保険料基準額を月額三千円に据え置きました。これは県内で最も低く、全国でも七番目に低い額になります。

■簡易水道特別会計■

本会計では、利用者に安全で清浄な水道水を提供するため、引き続き大明神浄水場前処理機のろ過砂入替工事を行ない施設の維持管理に努めました。

また、ハンディターミナルを使った水道検針システムの導入を行ないました。従来は手書きによるお知らせで使用水量をお知らせするのみでしたが、システムの導入により水道料金概算額や振替予定日なども併せてお知らせできるようになり、水道加入者の利便性の向上を図ることができました。

歳出では総務費および施設維持管理費が増加したものの、簡易水道事業費が減少したため全体では前年度より六百四万六千円の減となっています。

■下水道特別会計■

今年度も宮代、平西、平東、平中

地区の小規模集合排水処理施設の維持管理を行いました。

歳出では総務費および維持管理費の増加で、前年度より五十三万六千円の増となっています。

■国保診療所特別会計■

本会計は病院会計から移行して四年度で、診療所化に伴い収支改善を目的に取り組んできた看護師研修では、引き続き二名を派遣しました。

また、療養病床から老人保健施設へ転換してから二年目でもあり、介護報酬収入などの改善と施設の安定した利用・運営に努めました。また老朽化したCTスキャナ装置について一千三百四十九万二千五百円で更新を行ない健診設備の充実に努めました。

歳入では、約半分を占める診療収入の減少で前年度より一千百六十三万の減となりました。なお設備更新に係る過疎対策事業債分を含んだ一般会計からの繰入金金は、七千八百三十四万三千円となりました。

歳出では、給与費の増加や、設備更新による医療機器などの整備事業費の大幅な増加がありました。経費の大幅な増加は、前年度

に比べ一千三百十五万九千円の減となつています。

■後期高齢者医療特別会計■

この制度が始まり四年が経過しました。二十三年度末の受給者は前年度末から六人増え、六百四十四人となっております。

受給者数に比例して、歳入・歳出ともに増加傾向となっております。

■二十三年度決算の総括■

○健全な財政運営を目指して

財政については、財政健全化法による四つの指標の改善を意識した運

営を行ないました。

村の財源に対する負債返済額の比率を示す「実質公債費比率」は一三・五％で前年度より一・六ポイント下がり、算出が始まった平成十八年度以来年々改善されています。

続いて第三セクターや一部事務組合への債務負担を含む、村が将来負担すべき債務の比率を示す「将来負担比率」は三六・七％となり、昨年より一三・〇ポイント下がりました。

残る二つの指標の「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、対象とな

る会計に赤字額はありませぬ。これらの結果により、本村の財政は健全であると判断できます。

また一億円を積み立てた財政調整基金の残高は六億八千万円となりましたが、今後この基金については災害などの不測の事態への備えとするため、標準財政規模の二分の一相当の八億円を新たな指針として計画的に積み立てを行なつていきます。

財政の健全化については、さらなる改善を目指して今後も引き続き取り組んでいきます。

その他、簡易水道事業認可設計書変更申請委託事業を実施し、利用者への安心安全な飲料水の供給に努めました。

農業振興では、三年目となる耕作放棄地対策事業で十アール当たり一万二千円の奨励金を五十六件、三百四十九万一千円の補助を行ないました。また施設整備事業では茶の里会館電気設備の工事を実施しました。

林業振興では路網整備地域活性化事業を活用し大正洞二号線を四百八十二万一千円で開設を行ない

（担当課ごとの事業）

○総務課：

施設整備事業では総合運動場研修館の改築、村民センター耐震改修、CATV第二受信点整備などの各種工事のほか、CATV高所作業車両の整備を行ないました。

ソフト事業では、官民協働の村づくりへの取り組みを開始し、本年度は勉強会を実施しました。また「日本でも美しい村」連合加盟に向けた活動を行ない、本村は二十三年十月から連合に加盟をしています。そのほか小水力発電普及研究活動などの取り組みを行ないました。

○村民課：

滞納対策として村税滞納対策連絡会議の検討を基に、徴収嘱託員を引き続き設置し滞納額増加防止に努めたほか、県税担当職員と共同で滞納整理を行なう併任制度を取り入れました。

環境対策ではエネルギーの地産地消の一助とするため、住宅用太陽光発電システム設置補助金を十件、百十六万三千円を交付しました。

住宅対策では、「きめ細かな交付金」繰越事業で建築していた、木曾渡の定住促進住宅二棟が完成しました。また水道事業ではろ過砂入替工

(単位：円)

■村税負担の状況

税目	総額	1人あたり
村民税	72,607,518	27,133
固定資産税	111,615,260	41,710
軽自動車税	6,914,800	2,584
村たばこ税	5,107,548	1,908
計	196,245,126	73,335

村民 1人当たりの村税負担額は

約 7万 3千円

皆さんから納めていただいている村税の総額は、約 1 億 9624 万 5 千円です。これを 23 年度末人口 2,676 人で割ると左記のようになります。

(※法人分も含んでいます)

ました。また森林整備地域活動支援交付金事業では第二期五カ年計画の最終年度として、境界の明確化や作業路網の改良などの事業に対し一千二百五十万円を森林組合ほか二団地へ交付を行ないました。

商工振興では商工会が行なうプレミアム付つちのこ商品券発行事業への支援や経営改善支援、そのほか各種イベントへの支援を継続して実施しました。

フォレストスタイル事業では、二十一年度に営業支援活動を開始してから年々受注数を増やし、二十三年度は工務店持込みを含めて二十三件、八億八千万円の契約を行なうことができました。

村土保全維持では地籍調査を上親田、黒淵地区を中心に実施したほか、社会資本整備交付金を活用し、橋りょう修繕詳細設計や村道路路面修繕工事などを行ないました。

災害復旧では二十二年七月の梅雨前線豪雨災害、二十三年二月の低温による凍上災、八月の梅雨前線豪雨災害、九月の台風十五号豪雨災害の復旧工事を実施しました。特に十五号台風災害では、道路災害五ヶ所、河川災害五ヶ所、農地災害一ヶ所、

農業施設災害五ヶ所、林業施設災害三ヶ所の公共災害復旧工事を実施しました。

台風 15 号豪雨災害復旧：西洞川復旧工事



○教育委員会：

「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用して村民センターの村営図書館機能拡張工事、へき地児童生徒援助費補助金を活用してスクールバス三台の更新整備を実施しました。

○地域医療センター：

せせらぎ荘のスプリングカラー整備による安全対策を実施したほか、介護認定訪問車両の更新、みまもり巡回車両の整備を行ない活動体制の充実を図りました。

診療所運営では老朽化したCTスキャナ装置の更新を行ない、診療体制の充実を図りました。また運営体制について村民を代表する委員の方々からご意見を頂戴するため事業改革委員会を設置しました。いただいたご意見は今後の運営に活用していきます。

※地域活性化交付金の活用

地方活性化や住民生活対策などの事業への支援を目的とした国の交付金です。村では、この交付金を次のように活用しました。

○きめ細かな交付金

地域の活性化ニーズに応じた、幅広い事業を対象とした交付金です。村では研修館改築事業、村



営住宅整備事業、村営住宅改築事業、村道修繕事業を総額四千四百四十八万三千円の交付を受けて実施しました。

○住民生活に光を注ぐ交付金

生活支援対策として「地方消費者行政」「DV対策・自殺予防などの弱者対策・自立支援」「知の地域づくり」の三つの分野を対象とした交付金です。

村では総額九百九十九万二千円の交付を受け、「知の地域づくり」への取り組みとして図書館の書架の更新、学習スペースの拡張、図書追加を実施しました。

○巨木の森で木々を学ぶ

―木曾ヒノキ備林見学―

九月五日、中学校一年生二十四人は緑化少年団の活動で中津川市加子母の木曾ヒノキ備林を訪れました。

ここは文化財などに供給する優秀な材木の確保や研究のために管理される国有林で、樹齢三百年を超えるヒノキが立ち並んでいます。生徒は木曾五木と呼ばれるヒノキ、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキを見学、東濃森林管理署の職員からこれらの見分け方と材木としての特徴・用途を学びました。

この後少年団は九月十三、十四日に間伐・枝打ち体験を行ない、一年間の活動を終えました。これらの活動の成果は、来年一月二十三日のふるさと学習発表会で発表されます。



推定樹齢千年の大ヒノキと記念撮影

○村と企業、ヒノキを通じて交流を

―天然水の森 交流事業―



ヒノキ製品が設置された食堂

八月末、サントリーホールディングス(株)(東京都港区)は家具メーカーより東濃ヒノキ製のイスとテーブル、カウンター計七組を購入、本社食堂に設置しました。これらの原材料には、今年三月に締結された協定で「天然水の森 ぎふ東白川」となった新巣村有林のヒノキが使われています。また九月二十九日には交流事業として、本社と木曾川工場の社員が枝打ち体験を行いました。

今後サントリーと村の間では天然水の森協定の活動として、森林整備・保全活動などの自然を守る活動や交流が行なわれていきます。

○次の世代が学ぶ戦争の記憶

―小学六年生 平和祈念館見学―

九月十七日、小学六年生二十一人が平和祈念館を訪れました。児童は館内に展示された戦争資料の数々を真剣に、ときに悲しそうな顔で見学していました。

この祈念館には村の戦没者遺族や帰還軍人の方々から寄せられた遺書・遺品など約八百点が収められているほか、全館内に戦没者二百二十四名の遺影が掲示されています。これらの資料は、見学者に戦争がどんなに悲惨なものかを物語ってくれました。

平和祈念館は、これからも戦争という史実を後世に伝えるための重要な役割を担うと思われれます。



資料に見入るこどもたち

○淹れ方一つでより美味しく

―美味しいお茶の淹れ方教室―



美味しい淹れ方を実践中

現在白川町と村の美濃白川茶関係者による消費拡大を目指した「おもてなしプロジェクト」が展開されています。九月十九日にはこの関係者を対象にお茶の淹れ方教室が開かれ、白川町・東白川村の茶生産組合を中心に四十五名が参加しました。

説明を行なったのは美濃白川茶商會会長の鈴木雄二さん。実習ではポイントの一つ、急須にお湯を注いだ後の待ち時間による味の違いを検証するため、六十秒と四十秒に分け飲み比べをしました。

その結果、待ち時間六十秒のものが渋みが強くなり、参加者は二十秒の差で味に大きく違いが出ることに驚いていました。

○華麗な歌舞伎絵巻

―第三十六回郷土歌舞伎公演―

恒例の歌舞伎公演が九月十六日、はなのき会館で開かれ多くの観客が集いました。

今年、小学六年生の「浮世柄比翼稲妻」、村では初演の「碁太平記白石嘶」、小中学校の先生が中心の「白波五人男」「奥州安達ヶ原三段目」の四外題が上演され、観客から威勢の良い掛け声がかかり多くのおひねりが飛び交う中、それに応えるような熱演が続きました。

また、上演された外題の中で「奥州安達ヶ原三段目」は九月三十日に可児市で行なわれた第二十回飛騨美濃歌舞伎大会でも上演され観客を魅了しました。



「奥州安達ヶ原三段目」の一場面

○雨天の中でごみ拾い

―秋の河川清掃―



夏の間これだけのゴミが…

観光協会が主催する秋の河川清掃が九月二十三日に行なわれました。

村の重要な観光資源である清流白川ですが、シーズンを過ぎると捨てられたゴミが見受けられるのが現状です。白川の景観保全のため、毎年河川清掃が行なわれています。

この日は雨天でしたが、村民の皆さんは合羽姿や傘を片手に清掃に取り組んでおり、参加者は総勢二百七十九人となりました。

なおこの日に集められたゴミの総量は、可燃ゴミが二百七十キ、ガラスが十キ、金物が四百キとなりまし

○災害に備えて生活体験

―避難所体験訓練―

村では九月二十九日に中学校体育館で避難所体験訓練を行ないました。第一回のこの日は村内の希望者や民生委員、その他スタッフなどを合わせ約四十人が参加しました。

まずは避難所生活でのプライバシーを守るダンボール製間仕切りを組み立て、十〜十五分ほどで四畳半の空間を確保できました。その後レトルト食品による夕食を摂りながら、県の防災士や可茂消防事務組合の職員による講話を聞きました。

今回得られた各所要時間などのデータや様々な課題を踏まえ、実際の避難所開設に備えていきます。



間仕切りを組み立てる参加者

○家族で、チームで協力して進む

―ウォークラリー大会―

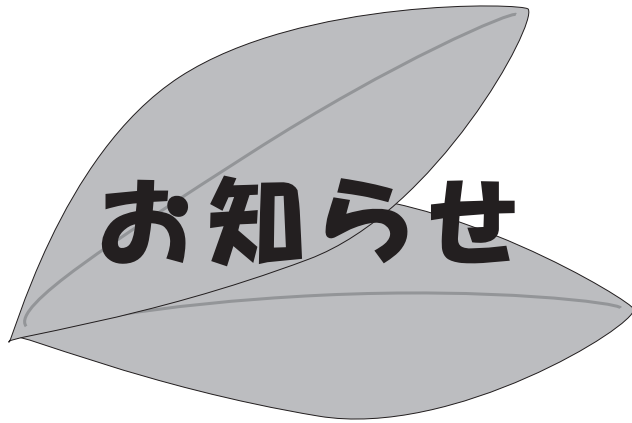


課題に取り組む親子

ぎふ清流国体デモスポ行事、ウォークラリー大会が九月三十日にはなのき会館を中心に行なわれ、家族や子ども会など村内外から二十九組、約百三十人が参加しました。

台風十七号の接近により内容を一部変更しての競技でしたが、コースに設置された問題を解いたり、観察ゾーンで真剣に観察する様子が見られました。また村の特産品「とまとのまんま」の試飲やカーネーションのプレゼントもありました。

なお優勝は、美濃加茂市の渡辺さん一家「G・F・W」チームとなりました。



子育てママの会 11月開館日						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	⑰
18	19	20	21	22	⑳	㉔
25	26	27	28	29	30	

○が開館日です

美濃加茂定住自立圏男女共同参画推進講座 クッキーでクリスマスオーナメント作り

親子で力を合わせてクッキー生地を作り、クリスマスオーナメントに仕上げます。

日時…12月15日(土) 13:00～15:00

場所…川辺町中央公民館 調理室

対象…美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、八百津町、七宗町、白川町、東白川村在住の親子

参加料…1家族 300円

持ち物…エプロン、三角巾、ふきん、マスク

申込期限…11月30日

お問合せ・申込み先…

役場総務課行政係 TEL: 78-3111 (内231)

県内全ての労働者の皆様へ

最低賃金が時間額 713 円になりました
岐阜労働局により、「岐阜県最低賃金」が10月1日から時間額 713 円に改正されました。(改正前: 707 円)

最低賃金は正社員やアルバイトなどの雇用形態に関係なく全ての労働者に適用されます。通勤手当や家族手当、ボーナスなどは対象になりません。

支払われている賃金が最低賃金額を下回っている場合、その契約は無効となり、最低賃金額を支払わなければなりません。

お問合せ…

岐阜県労働局労働基準部賃金室

TEL: 058-245-8104

事業主の皆様へ 改正育児・介護休業法について

従業員数 100 人以下の事業主にも適用

以下について、制度を導入し就業規則などに記載する必要があります

①育児のための短時間勤務制度…

3歳に満たない子を養育する従業員について、従業員が希望すれば利用できる、1日の所定労働時間を原則として6時間とする短時間勤務制度を設けなければなりません。

②育児のための所定外労働の制限…

3歳に満たない子を養育する従業員が申し出た場合には、事業主は、所定労働時間を超えて労働をさせてはいけません。

③介護休暇…

介護のための休暇を対象家族1人であれば年に5日、2人以上であれば年に10日まで取得することができます。

お問合せ…

岐阜県労働局雇用均等室

TEL: 058-245-1550

イベント用品を整備しました

平成24年度宝くじの助成を受け、ワンタッチテント5張、テーブル20台、イス80脚、枝打ちはしご50脚、チェンソー1台などを整備しました。各地区のイベントなどにご活用できます。

お問合せは役場産業建設課(78-3111)まで



ワンタッチテント

戸籍の窓

9/1
～ 9/30

(敬称略)

○誕生おめでとうございます

今井潤哉 (修輔・朝美 / 下野)

○お悔やみ申し上げます

安江公平 88歳 (平)

古田なか 95歳 (上親田)

樋口晋吾 65歳 (中谷)

ありがとうございました

9/1～9/30

御寄付

(敬称略)

【東白川村】

■医療・福祉部門

金 20万円…安江峰子、安江敬 (平)

洗剤…安江勝代 (下親田)

洗剤…匿名

■保育園指定寄付

未満児用おしりふき 12パック…

竹本勤 (平)

【社会福祉協議会】

金 20万円…安江峰子、安江敬 (平)

寝巻、清拭布…島倉淑子 (下親田)

清拭布、袋…茶庵堂クラブ

清拭布…

わかば会、東白川村華道クラブ

古切手…樋口美佐枝 (西洞)

古切手…匿名

東白川森林組合月末報告 第 651 回共販会

ひのき 13cm 以下小丸太…平均単価 /8,700 円

ひのき 14cm 以上…平均単価 /20,500 円 高値 /106,000 円

すぎ…平均単価 /9,600 円 高値 /20,300 円

赤まつ…平均単価 /6,500 円 高値 /9,000 円

総取扱量 /656 m³ 総販売高 /1138 万 1 千円

ゆるキャラグランプリ 2012 皆さん応援をお願いします！

つっちー・のこりん参戦中！

現在、インターネットの投票で全国のご当地キャラクター日本一を決める「ゆるキャラグランプリ 2012」が開催され、600を超えるゆるキャラたちが人気を競っています。

村からも「つっちー・のこりん」がグランプリに参戦しました！

皆さんの投票をお待ちしています！

URL : <http://www.yurugp.jp/index.php>

※投票にはメールアドレスを使用します。

※パソコン及びスマートフォンは専用IDの登録が必要です。

上記 URL 内の「投票 ID 登録」から手続きをしてください。

ご不明な点は以下のお問い合わせ先までお願いします。

お問合せ…役場産業建設課林務商工係

TEL : 78-3111 (内 270)



国の教育ローンをご活用ください

高校、大学、専門学校などへの入学時、在学中にかかる費用を対象とした、公的な融資制度です。

ご融資額…学生 1 人あたり 300 万円以内

利率…年 2.65% (母子家庭の方は 2.25%)

ご返済期間…15 年以内

(交通遺児家族、母子家庭の方は 18 年以内)

用途…入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金、家賃など

返済方法…毎月元利均等返済 (ボーナス時増額返済も可能)

※この他東日本大震災により被害を受けた方に「災害特例措置」を実施しています。

詳しくは下記にお問い合わせください。

お問合せ・申込み…教育ローンコールセンター

TEL : 0570-008656 (ナビダイヤル) または 03-5321-8656

加茂医師会 11月の休日診療のご案内 (診療時間: 午前9時～午後5時)

日付	曜日	当番病医院	住所・連絡先 (市外局番 :0574-)	医師
3	土	田原医院	加茂郡川辺町中川辺 1544 TEL : 53-5588	田原真
4	日	木沢記念病院	美濃加茂市古井町下古井 590 TEL : 25-2181	伊佐治慶洋
11	日	野尻整形外科	美濃加茂市太田町 1887-2 TEL : 25-3500	野尻肇
18	日	岐阜健康管理センター	美濃加茂市西町 1-292 TEL : 28-8899	益田雄一郎
23	金	黒岩内科小児科クリニック	美濃加茂市太田本町 2-6-18 TEL : 26-0525	黒岩正樹
25	日	太田メディカルクリニック	美濃加茂市太田町 2825 TEL : 28-2220	佐々木裕茂

秋フェスタ開催のお知らせ

開催日：11月18日(日) 9:00～15:00 会場：はなのき会館周辺
 テーマ「自然いきいき 人のびのび ようこそ美しい村東白川へ」

イベント

ステージイベント

- ・特別出演 黒川箱岩太鼓
- ・桧茶太鼓
- ・商工会女性部 ドリーム抽選会
- ・リサイクル自転車抽選会
- ・めぐみの農協の感謝くじ餅投げ
- ・中学生プラスバンド

会場内イベント

- ・農産物品評会
- ・美しい村フォトコンテスト

グルメ

- ・バーベキューコーナー
- ・商工会うまいもんバザー
- ・観光協会「居酒屋 はなのき」
- ・五平もち、へぼ飯、朴葉寿司 など
- ・村特産トマトバーガー
- ・お茶あんみつ、ぜんざい
- ・絶品まぐろの中落ち丼
- ・お祭り定番 焼き鳥、牛串、たこやき、ラーメン など

遊び

- ・チャレンジランキング in 東白川 (豆つまみ皿移し、割り箸ダーツ 他)
- ・スタンプラリー (完走者にはもれなく景品を贈呈)
- ・林業機械で巨大積木ゲーム など

お買い物

- ・即売会 (農産物品評会後 12:30～)
- ・農家の八百屋さん・白川田舎漬
- ・東白川産飛騨牛・黒川物産販売
- ・白川茶、とまとのまんま その他...
- ・多数の東白川村特産品
- ・自衛隊グッズ
- ・プレミアム付つちのこ商品券

○問合せ 秋フェスタ'12実行委員会 (役場産業建設課農務係)
 TEL: 78-3111 (内: 260)

東白川村文化祭

恒例の文化展と芸能発表会が行なわれます。文化展では、俳句や短歌、手芸、生け花、写真など文化協会員の作品に加え、小中学生や一般応募の絵画などの展示を行います。芸能発表は、踊りや民謡、詩吟、三味線など日頃の練習成果を披露します。

期日／十一月二日(金)～三日(土)

※芸能発表は三日のみ

会場／はなのき会館

問合せ／東白川村教育委員会 (78・3111)

俳句

小刻みに空中舞いぬ 秋茜
 久に聞く左の耳に虫の声
 薄紅のコスモス咲きて 風通る
 朝焼けに又もや雨かと眉ひそむ
 老いてなお立つ秋風に夢をのせ

安倍 栄香
 安江とくよ
 安江とみ子
 村雲ともこ
 村雲 春子



(あけぼの俳句の会)

人口の動き

－9月末住民登録人口から－

世帯数	868世帯
人口	2,655人 (男1,275人 女1,380人)
転入	5人
転出	6人
出生	1人
死亡	4人
先月と比較して	4人減
昨年と比較して	37人減

編集後記

以前、新聞であるスポーツ選手のコメントを読みました。その内容は、「日本人はもともと先祖に感謝するべきだ。世界に出ると、日本はとても豊かで、いい国だと実感する。それは昔の人々が築き上げてきたからこそであり、私たちはその努力のおかげで今の平和な暮らしができています。」というものでした。

普段何気なく生活していると、悪い事ばかりが目につく事が多いです。個人や地域などいろんな問題や悩みもありますが、感謝の心を忘れず取り組む姿勢を大切にしたいです。

(Y)